

(2020 年 5 月 1 日版)

甲府ロータリークラブ会員の皆様へ

2019～2020 会長 鶴田哲嗣郎

皆様方におかれましては不安な状況の中、日々お過ごしのことと拝察いたします。

新型コロナウイルスによる感染拡大の脅威が続いている中において、私たちロータリアンは地域社会のリーダーとしての行動が求められています。

ロータリー財団は地区補助金およびグローバル補助金を「災害救助補助金」として新型コロナウイルス関連の活動への使用を推奨し、世界各国での新型コロナウイルスに対する取り組みの後押しをしています。

第 2620 地区では地区補助金を活用し「医療用フェイスシールド」を山梨・静岡両県庁を通じ、第 1 種・第 2 種感染症指定医療機関などへ計 8,160 個を寄贈し、医療に従事するロータリアンには 1,100 個が配布されました。

また、当クラブもメンバーのご厚意により提供いただいた「不織布マスク」20,000 枚を(公社)山梨県看護協会に本日寄贈させていただきました。

さらに、例会その他の事業中止に伴う剰余金の一部の使途として、新型コロナウイルス関連医療への貢献事業と位置づけ、ロータリー財団への寄付及び山梨県に対する「医療物資支援金」の寄付。その他医療物資の寄贈なども理事会により検討して参りたいと考えております。

ロータリー活動が見合わせとなってから、丸二ヶ月が経過いたしました。3 月末に退会された支店長様の後任の方についても、理事会および会員の皆様方からのご承認をいただいたまま入会に至らない現状となっています。つきましてはコロナウイルス感染拡大防止の観点から「入会前情報教育」は会員候補者の方に資料をお読みいただくことで代えさせていただき、今年度内の入会扱いとさせていただきます。入会式については、例会再開後に速やかに執り行いたいと考えております。

70 周年記念式典を含めた 5 月 18 日以降の活動については、5 月 11 日の理事会での協議となりますが、率直に申し上げて今年度末までにこの事態が落ち着くとは考えにくい状況に陥っています。このまま例会を開催すること無く今年度を終わらせてしまうべきか、或いは着席レイアウト等に工夫を凝らし、食事はテイクアウト、プログラムは時短とする形をとることにより、例会が開催可能になるかどうか等も模索してまいりたいと考えております。

また、準備には相応の時間や経費も入り用となりますが、Web 会議ツールを使う「オンライン例会」等へのチャレンジもしていかなければならないと考えております。

先行きが不透明な中、私自身もただ思い煩うばかりで、リーダーシップを発揮する事もままならず、皆様にはご心配をおかけするばかりで大変申し訳ありません。

奉仕と友情という「絆」で結ばれたロータリアンとして、手を携えてこの苦難を乗り越えていきたいと思っておりますのでご協力を賜りたく、また新型コロナウイルスの災禍が続く中、引き続きご自愛いただけますようお願い申し上げます。